

理科 (生物基礎・生物) 九州大学 理, 農, 医(生命科学, 保健), 歯, 薬, 芸術工学部

<全体分析>

試験時間 75 分

解答形式

選択, 記述, 論述, 計算

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

大問数は昨年と同じく5題。論述問題の問題数が増加し、総論述字数も210字から380字に増加した。

その他トピックス

例年よく出題される「指定語句を用いて論述する形式の論述問題」は出題されなかった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	選択 記述 論述	葉緑体光定位運動 フィトクロム	生物	問3 (2) フォトリポピンが誘導する応答として「葉の展開」が記載されている教科書は少ない。 問3 (3) クリプトクロムが花芽形成の制御に関与することが記載されている教科書は少ない。	やや難
[2]	選択 記述 論述 計算	免疫 視覚 血糖調節 酸素解離曲線	生物基礎 生物	問4 「酸素解離曲線」や「酸素の運搬」については、取り扱われていない教科書が多い。	標準
[3]	選択 記述 論述 計算	減数分裂・遺伝 シロリョウバ I の発生	生物	問1 (2) A (a) - B (b) 遺伝子座間において、一回の減数分裂過程で10%の確率で組換えが起こる場合、生じる配偶子は AB : Ab : aB : ab = 19 : 1 : 1 : 19 となり正解が存在しなくなるが、本問では「A (a) - B (b) 遺伝子座間の組換え価が10%」という意味で出題されているのだろう。	標準
[4]	選択 記述 論述 計算	PCR法 遺伝子導入	生物	問4・5 プライマーの設計については、昨年の〔4〕でも出題されている。	やや難
[5]	選択 記述 論述 計算	生物の分類 生命表・生存曲線 生物間相互作用	生物		標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

知識問題で、高校「生物」ではあまり学習しないような内容を問われることも多いので、図説などを用いて、細かい知識まで学習しておくことよい。また、実験結果をもとに考察・論述する問題が多く出題されるので、入試問題集を用いた演習により考察力を高めておきたい。論述問題対策として、50~100字程度の文章をまとめる練習をしておこう。